

とむろいし
戸室石だより

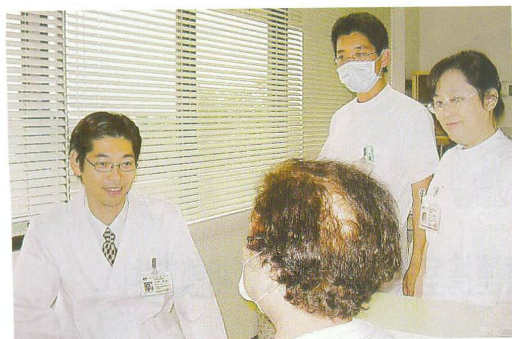
土堀の石垣のように、みんなで、暖かい病院を！ 発行：金沢医療センター編集委員会

さらに密接な医療連携・連続性のある 地域医療を目指して — 開放病床の開設にあたって —

地域医療連携室長 阪上 学

平成18年10月より、当院にて開放病床が開設され、既に多くの方に利用していただいています。開放病床という言葉になじみがない方も多いかと思いますので、この紙面を借りて簡単に説明させていただきます。これまで地域で開業されているかかりつけの先生方からの依頼で紹介入院された方の主治医は当院の医師のみが当たってきましたが、この開放病床(各病棟に1~2ベッド配置)へ入院された方の診療は当院主治医とかかりつけの先生(金沢市・白山市・野々市町・かほく市・内灘町・津幡町)とが共同して行うこととなります。ではこの制度は患者さんにとってどのようなメリットがあるのでしょうか？まず、一番にあげられるのは診療場所が変わっても、かかりつけの先生に継続的に診療に関わってもらえる安心感ではないでしょうか。慣れない入院で思うように病院のスタッフに伝えられないことなども、かかりつけの先生であれば理解していただけることもあるでしょうし、当院のスタッフの立場としても1枚の紹介状から知ることの難しい普段の体調や症状なども、かかりつけの先生が医療チームに入ることによって、これまで以上にスムーズに知り診療にいかすことができます。なにより、病状が安定し退院した後も入院中に行った診療結果や病状をかかりつけの先生に逐次知ってもらうことになり、連続性のある医療をうけることが可能となります。

さらに開放病床の効果はこのような患者さんに対する直接的な恩恵だけではないと考えられます。病院側の医療スタッフにとっても、これまで以上に診療内容がオープンになるわけであり、独りよがりではなくきちんとしたエビデンス(証拠)に基づいた的確な医療を実践していく必要があります(勿論これまでも実践していますが、他人の眼がはいることは重要と考えられます)。このことは患者さんに質の高い医療をうけていただくことにつながっていくと信じております。さらにかかりつけの先生にとっても、



当院の主治医との共同診療を通じて、新しい治療内容を知っていただいたり、これらの診療で注意すべき点などを肌で感じていただいたりするよい機会になり、これらのことが地域全体の医療レベルを向上させるものと信じてやみません。

これまでから当院のような総合病院へのみ通院されている患者さんにおきましても、これを機会にお近くにかかりつけの先生をお持ちになり、よりよい医療連携の恩恵をお受けになることをお勧めします。

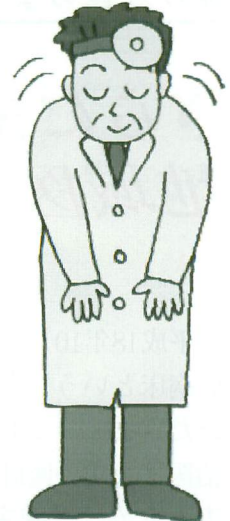
当院では紹介状をお持ちの方の 診療を優先的に行っています

今年10月より、他院からの紹介状をお持ちになって受診された方の診察や検査を、優先的に早く行っています。

当院では、病気をお持ちの方によりよい医療を受けていただくために、地域のかかりつけの先生方との連携を強化しております。

その一環として、かかりつけの先生からの紹介状をお持ちの方の診療を迅速に行い、その結果をいち早く報告することを心がけております。

紹介状の有無により、お呼び出しの順番が変わることや、再来患者さんにおいても予約の診療時間が遅れる場合がありますが、皆様にはこの主旨をご理解のうえ、なにとぞご了承くださいますようお願いいたします。



当院に定期的に通院されている方も

ぜひかかりつけ医をお持ちください！

ちょっとした病気や具合の悪くなった時に、いつでも気軽に相談できるし、やはり近くだと安心だね。



生活に密着した総合的なアドバイスをしてもらえるから、助かるわ～



かかりつけ医をお持ちでない方は、当院の主治医か地域医療連携室までお気軽にご相談下さい。

禁煙キャンペーンの開始

禁煙対策チーム

当院は、平成16年1月1日から敷地内全面禁煙とし、灰皿の撤去、禁煙ポスターの掲示、禁煙看板の設置など禁煙環境を整備し、禁煙外来をはじめあらゆる面から禁煙をサポートしてきたのですが、なかなか禁煙に踏みきれない喫煙者の方々がいらっしゃるようで、病院敷地内の建物出入り口近くや植込み、排水溝などの随所に、いつも吸い殻が落ちているのがみられました。

そこで、この度9月から、まず、これまでの特に吸い殻が多く捨てられていたところに、隠れ喫煙場所をなくすため、新たに禁煙ポスターを掲示し、禁煙の立看板をよりよく目立つように設置し、新たな禁煙キャンペーン活動への取組を始めました。

また、医師、看護師その他各部門による禁煙対策チームを編成し、タスキがけをした職員が火バサミを持って敷地内を定期的に巡回し、吸い殻を拾いながらクリーンアップに努めるとともに、喫煙されている患者様には禁煙への協力を呼びかけ、禁煙外来の受診を勧めることになりました。

喫煙者の皆様にとっては肩身の狭い今日ですが、病院に来られている多くの患者様のために禁煙を心がけ、吸い殻は捨てないというマナーを守ることが必要ではないでしょうか。



患者さん募集中



金沢医療センターでは、新しいお薬の開発を行っています。現在、新しいお薬の開発に協力していただける方を募集していますので、興味のある方はお気軽に治験（ちけん）管理室までご連絡下さい。

※ 新しいお薬の開発を安全に進めるために、協力していただく為の条件がいくつかあります。

治験管理室の連絡先（直通） 電話076-203-4520 平日の9時～17時

次のような患者さんを募集しています。	開発中のお薬	診療科
気管支喘息で、発作が時々ある方	喘息発作のお薬	呼吸器科
腎臓が原因の貧血の方	腎性貧血のお薬	内科（腎・膠原病）
慢性腎不全の方	慢性腎不全のお薬	内科（腎・膠原病）
アルツハイマー型痴呆と診断された方	痴呆のお薬	脳神経外科
閉塞性動脈硬化症で、治り難いキズが足にある方	閉塞性動脈硬化症のお薬	心臓血管外科
糖尿病性のしびれがある方	しびれのお薬	内科（内分泌・代謝）
肺炎の方	抗生物質	呼吸器科
肺がんで抗がん剤による治療予定の方	吐き気を抑えるお薬	呼吸器科
脳梗塞と診断された方	脳梗塞再発予防のお薬	脳神経外科
脳梗塞発症後3日以内の方	脳梗塞のお薬	脳神経外科と神経内科
がんによる痛み、麻薬以外の痛み止めを服用している方	痛み止め	放射線科

平成18年10月1日現在

ロビーコンサートだより



平成18年7月20日（木）午後7時から約1時間、1階薬局前にて第10回ロビーコンサートが開催されました。今回は新メンバーとして研修医の若林さんがバイオリンに加わり、より賑やかな舞台になりました。これまでバイオリンやビオラを担当していた越田医師はチェロに挑戦、バッハやパッヘルベルの通奏低音を担当しました。プログラム前半は、宮川さん（ピアノ）、山上さん（バイオリン）の薬剤師デュエットで親しみやすいポップスが5曲続けて演奏され、それに引き続き、バイオリンとチェロを加えてプッチーニの「誰も寝てはならぬ」が披露されました。後半は伊勢医師のピアノ伴奏でチェロの小品のあと、滝口医師のフルートによるバッハ、ドビッシューと続き、弦楽合奏によるパッヘルベルのカノン、最後に全員で「夏の思い出」が合奏されました。今回は女性陣の華やかな舞台衣装に中年トリオは圧倒され放しでした。

ここで当院のロビーコンサートの変遷を振り返ってみたいと思います。

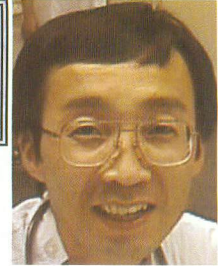
平成16年2月に患者さまの入院生活に少しでも潤いを提供できないかという視点に立って企画されたことがそもそもの始まりであります。とりあえず演奏楽器として電子ピアノが購入され、伊勢医師が中心となり演奏者を募りました。実現まで多少の時間を要しましたが、同年6月10日に、伊勢（ピアノ）越田（バイオリン）滝口（フルート）の当院医師3人による第1回院内コンサートが1階薬局前のロビーにおいて開催されました。150人近い聴衆の前で、クラシックの小品や日本の童謡、唱歌などが1時間に渡り演奏され、演奏者全員が当院のスタッフであったという親近感の後押しもあってなかなか好評でありました。その後も、2～3ヶ月に1回のペースで開催され、演奏者の顔ぶれも病院内外から多岐に渡っております。詳しい内容については1階展示スペースにおいて過去10回のポスターとして掲示されています。

入院中にこのコンサートを聴かれた患者さまの中には、退院後も演奏会当日の夕方にわざわざ足を運ばれる方がいらっしゃいます。また本年9月6日の北国新聞の投稿欄に、「病院での演奏に心癒される」と題した当院ロビーコンサートに関する記事が掲載され、当初の目的をそれなりに果たしているという実感が湧いて参りました。これまでに院内スタッフが8名、さらにその仲間やボランティアとして出演して頂いた方は総勢50名近くに及び、皆様のご協力に感謝申し上げる次第です。今後も当院での入院生活の潤いの一翼を担うようロビーコンサートを継続して行く予定です。あなたの御出演を心よりお待ちしております。

（文責 越田）

ニッタ先生の神経百話 (第12回)

脳卒中予防十か条(脳卒中シリーズその5)



キンモクセイの甘い香りの記憶も薄れて徐々に秋も深まり、紅葉が気になる今日この頃ですが、皆様、お元気でしょうか。少しずつ気温が下がってくると、心配なのは脳卒中ですね(心筋梗塞もね、と隣の中村先生のささやき声も響いてはきますが…)。神経内科では**ふるえ外来**を始めましたが、「ふるえるから中風になってしまった」は誤解で、中風(脳卒中)でふるえることは稀です。今回は、日本脳卒中協会からの**脳卒中予防十か条**を御紹介しましょう。()はニッタ先生の追加ですぞ。

- 1.手始めに**高血圧**から治しましょう(高血圧は一番の敵ですな)
- 1.**糖尿病**、放っておいたら悔い残る(能登先生がお待ちかねで〜す)
- 1.**不整脈**、見つかり次第すぐ受診(循環器内科にね)
- 1.予防には、**タバコ**を止める意志を持って(けむたがらずに禁煙外来にどうぞ)
- 1.**アルコール**、控えめは薬、過ぎれば毒
- 1.高すぎる**コレステロール**も見逃すな
- 1.お食事の**塩分・脂肪**控えめに
- 1.体力に合った**運動**続けよう
- 1.万病の引き金になる**太りすぎ**
- 1.**脳卒中**、起きたらすぐに病院へ(めざせ、2時間以内)

皆様、残念ながら脳卒中では一般的になかなかぼっくりいけませんよ〜、本当に。予防に勝る治療なし!ですね。オーッ ヌ(^ ^)/、がんばらんば。

『お祝い膳』がリニューアル!

当院では、ご出産されたお母様に、特別な食事をご用意しております。この度、サービスの向上を目指し、メニュー・食器・配膳方法などの見直しを行い、『お祝い膳』をリニューアルいたしました。『お祝い膳』は出産後、夕食にメッセージカード付きでお届けします。お子様の誕生を祝福し、健やかなご成長を祈りつつ、お母様方に喜んでいただけるよう、担当調理士が心をこめて調理いたします。

今回のメニュー改善には、たくさんのお客様のご意見・ご要望をとり入れるよう心がけました。これからも、お客様にご満足いただけるよう努めてまいりたいと考えております。ご要望等ございましたら、お気軽にお寄せください。

お祝い膳メニュー

五目ちらし、鯛味噌汁、煮物、
豚肉の冷しゃぶ、海老フライ、
辛子和え、即席漬け、
果物盛合せ、ティーセット

【ふるえ外来】新設

神経内科、毎週金曜日

身震い、武者震い、排尿後にブルとくるなど、病気でない“ふるえ”はさて置き、本人の許しもなく勝手にふるえてしまうのは甚だ迷惑ですね。

たとえば、書字や署名するとき、メールを打つとき、ご飯を食べるとき、あるいは、細かい手作業や講演時などに、“ふるえ”がでて悩んでおられる方や、“ふるえ”の親戚であるまぶたや顔のけいれん、頭が勝手に回ってしまう痙性斜頸を放置しておられる方を大勢お見かけします。いずれも、“ふるえ”との付き合いが長いから諦める、あるいは命が奪われるわけではないから放置するという方が多いかと思えます。

しかし、薬で“ふるえ”が良くなる人もいますし、手や足の“ふるえ”から、甲状腺の病気や糖尿病、肝臓病などの診断がつくことや、パーキンソン病の始まりであることもあります。また、薬の副作用による“ふるえ”ということもあります。いずれにしろ、一人一人の方の“ふるえ”を神経内科でしっかり診断し、治療することが大切です。二人三脚で“ふるえ”を退治しましょう。

（文責 神経内科 坂尻）

神経内科ホームページ：

http://www.hosp.go.jp/~knzwhosp/shinryou/naika/sinkeinaika/sinkei_index.html

「病気の話シリーズ」

なっとくのいく話

場所：当院地域医療研修センター

今後の予定

第32回 インフルエンザの話 担当 呼吸器科 北 俊之

平成18年11月16日（木）午後3時から

第33回 動悸を感じたら 担当 循環器科 阪上 学

＝ここまでなおる不整脈＝

平成18年12月21日（木）午後3時から

第34回 血尿の話 担当 泌尿器科 越田 潔

＝泌尿性器からのSOS＝

平成19年 1月18日（木）午後3時から

外来担当医一覧表

平成18年 11月

診療科目	診療時間	【初診受付時間】 午前8時30分～11時30分					備考
		月	火	水	木	金	
内科	初診	吉村	吉尾	伊勢/長岡	北	周藤	水曜日:初診は隔週交代です
	初診(消化器)	太田	高田	松田(尚)	重山	足立	糖尿病教室:第1～第4月曜日(14:00～15:00)
	内分泌・代謝①	能登	長岡	能登	高櫻	長岡	高血圧教室:第2水曜日(15:30～16:30)
	内分泌・代謝②		(能登)	高櫻			
	腎・膠原病	伊勢	伊勢	木田	吉村	吉村	
	血液	吉尾			周藤	吉尾・池ヶ谷	第1金曜日 吉尾、第2・3・4・5金曜日 池ヶ谷
	呼吸器	北	曾根	北	犬塚	曾根	禁煙外来:木曜日(14:00～)要予約
	消化器①	森本	太田	森本	太田	森本	
消化器②	松田(尚)	重山	足立	*足立	高田	*キャリア外来(毎週木曜日)	
精神科		坂井	小室	杉盛	小室	坂井	
小児科	一診	奥田	脇坂	奥田	酒詰	奥田	予防接種:火・木曜日の15:00～16:00
	二診	西田/大月	大月	西田	脇坂	齊藤	
	専門外来			内分泌・西田	小児神経・脇坂	循環器・酒詰	
	午後予約外来	慢性疾患 奥田	1ヶ月健診・発達 奥田	慢性/アレルギー 奥田	乳幼児健診・発達 奥田	循環器 酒詰	午後の予約診療時間 月、水15:00～16:30・火、木13:30～16:00
	午後予約外来		小児神経 脇坂	内分泌 西田	慢性疾患 酒詰/脇坂		
外科	一診	桐山	初診のみ	桐山	初診のみ	桐山	
	二診	黒阪	(当番医)	小島	(当番医)	小島	
	三診	竹川		竹川		竹川	
	五診	道場		道場		道場	
	六診	田村		黒木		新村	
	七診	道輪	(手術日)	黒阪	(手術日)	道輪	
	乳腺外来	道輪		桐山		竹川	
整形外科	一診	初診のみ	末吉	初診のみ	末吉	初診のみ	スポーツ外来:第2・4火曜日(15:00～17:00)予約制
	二診	(当番医)	納村	(当番医)	納村	(当番医)	
	三診		白井		白井		
	四診	(手術日)	田中	(手術日)	岩井	(手術日)	
脳神経外科	一診	池田	池田	当番医	池田	正印	月、水、金曜日:手術日
	二診	赤池	正印/赤池	(手術日)	正印	赤池	火曜日二診は、一週交代です。(10:00～) 木(14:00～)ハートキン病外来(要予約)
神経内科		新田	坂尻	新田	坂尻	新田	火:物忘れ外来(午前・要予約)
							水:頭痛外来(午前)
							金:ふるえ外来(午前)
循環器科	一診	佐伯	中村	阪上	中村	中村	初診(毎日)
	二診	大倉	阪上	北野	阪上	大倉/北野	金曜日二診は、一週交代です。
	三診		佐伯		佐伯	当番医	
心臓血管外科	一診	佐々木	遠藤	佐々木	遠藤	佐々木	
	二診		川上		松本(康)		
	三診	(手術日)	松本(康)	(手術日)	笠島	(手術日)	
皮膚科	初診/再診	稲沖	西島	稲沖	稲沖	西島	乾癬外来:木曜日(13:30～15:30)
	再診	西島	稲沖	袖本	西島	袖本	
	再診	袖本	袖本		袖本		
泌尿器科	一診	越田	越田	勝見	石浦	越田	ED外来:第2・4木曜日
	二診	武田	武田	石浦	武田	石浦	ストマー外来:第2月曜日
		(手術日)		(手術日)		(手術日)	月、水、金曜日:手術日
産婦人科	一診	丹後	瀬戸	丹後	金谷	瀬戸	妊産婦健診:午前(月～金)及び 月・水・金曜日午後(15:00～17:00)
	二診	金谷	当番医	瀬戸	当番医	金谷	
	三診	瀬戸	(手術日)	金谷	(手術日)	丹後	
眼科	一診	安藤	安藤	安藤	安藤	安藤	コンタクトレンズ:月、水曜日(13:00～15:00)
	二診	高橋	高橋	高橋	高橋	高橋	火曜日:手術日
耳鼻咽喉科	一診	瀧口	瀧口	瀧口	瀧口	瀧口	いびき:火曜日(14:00～15:00)
	二診	荒館	荒館	荒館	荒館	荒館	めまい:火、木曜日(15:00～16:00)
	午前11時以降	荒館	瀧口	瀧口	瀧口/荒館	荒館	月、水、金曜日:手術日
放射線科	一診	斎藤	多田		多田	斎藤	照射の依頼:毎日可
	(超音波)	小林	多田・小林	大久保	多田・大久保	俵原	
歯科口腔外科	初診/再診	中尾		島田	初診のみ	島田	
	再診	島田	(当番医)	中尾	(当番医)	中尾	
	再診	柳沢	(手術日)	柳沢	(手術日)	尾田	
	再診	尾田		尾田			
麻酔科	一診	岸植	岸植		岸植	岸植	ペインクリニック、術前診察:午前中
	二診	横山	野竹			太田	

※ 特殊外来及び午後外来は、予約が必要です。なお、急患については、終日受付します。
担当医は都合により変更となる場合がありますのでご了承願います。7

コスモス広場

壁から枝がニヨキニヨキ?

思わぬ所から芽が生え実をつけて人々を驚かせている“ど根性植物”が最近日本中で報道されていますが、院内にもありました。壁から枝がニヨキニヨキ生えているのです(写真)。壁には排水溝がありその細い穴から顔を出しているのですが、光を受けようと枝を伸ばし、葉をつけているのですが、植物の生命力の素晴らしさを感じるとともに、どんな所からでも這い上がる“ど根性”に勇気を与られます。この“ど根性植物”は「エノキ」で中庭には無い木だそうなので、種がどこから飛んできて根を張ったようです。正面玄関と病棟の間、もしくは地階の売店と病棟の間の廊下から見ることができます。



臨床検査技師 滝野 豊

看護師募集

「看護がいいから、金沢医療センターに行こう」といって頂けるような

看護部作りに参加してみませんか？

詳しいことは下記までお問い合わせ下さい

076-262-4161 (代表) 看護部長室

金沢医療センターの理念

【理念】

私たちは、生命の尊さと人権を尊重し、高度で最良の医療をめざします。

【基本方針】

- 一、説明と同意に基づく信頼される医療をめざします。
- 一、床研究を行い、医学の進歩に貢献することをめざします。
- 一、病診連携を密にして、地域医療に貢献することをめざします。

編集後期:「暑い、暑い」を連発していたのがついこの前のことだったのに、今では朝晩めっきり涼しくなっていました。今までは一読者として「戸室石だより」を拝見して参りましたが今回の31号から編集のお仲間に入れさせて頂くことになりました。皆様に発刊を心待ちにして頂けるよう、金沢医療センターの中身がよくわかり、読んだ後に心がゆたかになるような「戸室石だより」にしたいと思い参加いたしました。これからは記事に出来るような情報を意識的に探しながら病院内を歩こうと思っています。(Y.K.)

発行元：金沢医療センター (〒920-8650 石川県金沢市下石引町1番1号)

電話：076-262-4161 (18時以降の救急受付；076-262-4163)、FAX：076-222-2758

ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~knzwhosp/> Eメール admin@kanazawa.hosp.go.jp

地域医療連携室 (直通番号 076-262-4187、専用FAX 076-262-4188)

編集委員：井村政美、緒川陽子、北川芳美、越田潔、小松昭弘、佐々木久雄、周藤英将、滝野 豊
西井佐織、西出一信、西村良子(五十音順)